

妻沢の七庚申碑の話

丹内山神社の七不思議

、東和の毒沢では、火事が頻繁に起きて、なかなか原因が分からなかった。

考えた末に、石鳥谷の関口に祈禱所で占いや八卦おきがよく当たる人がいると聞いて、村の代表が聞きにいつて怪しげなことをたずねた。

そうしたら、村の○○某という家の前にある川に架けられている石橋の石が災いしてたたつていてということであった。

その話を聞いて、村人が川の石を外して石の裏を見てみると、七庚申の碑であった。

すぐにその石碑を土に戻して、又、その家では、倉沢の人形歌舞伎の菅野常次郎に頼んで彫刻の祭壇を製作してもらって、小さいお宮をつくり、お参りした。

それ以来、村では火事が出なくなったという。

東和町谷内の丹内山神社には、七つの不思議がある。

一 丹内山神社の境内に爺杉と婆杉がある。

二 境内に大きなイチヨウの木があるが、どんなに激しい嵐でもイチヨウの葉は境内の外に飛んでいかない。

三 境内にはなぜか竹がない。

四 境内の池の付近に肌石と呼ばれる石があるが、冬に大雪になつて周辺一帯に雪が積もり真つ白になつてもこの肌石には雪が積もらない。

五 剣掘石と呼ばれる手水鉢にはいつも水が溜まってい、どんなに干照でも枯れることはない。

六 丹内山神社本殿初め境内の建物にはなぜかつらが下がらない。

七 権現様の廊下の脇障子の唐獅子の絵の鼻を誰にも見られずに舐めると願いが叶う。

嶋二郎氏談

2010年(平成二十二年)六月

聞き手 鹿川博司

記録 浅沼克之